

東浦町・東浦町商工会・株式会社フォーバルが連携 ～個社訪問と伴走支援で、町内企業の生産性向上と課題解決を推進～

東浦町、東浦町商工会及び株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島將典、以下「フォーバル」）は、町内企業の生産性向上と課題解決を推進するため、3者で連携し、町内の中小企業・小規模事業者約 50 社を対象に個社訪問と伴走支援を実施します。

以下の取り組みを通じて、企業内に持続可能な DX の土台を構築するとともに、町内企業全体のデジタル変革と意識の底上げを図ります。

■実施概要

●実施期間

2026 年 9 月 10 日（木曜日）～10 月 30 日（金曜日）

●対 象

東浦町商工会会員事業者（約 50 社）

●実施内容

①個社訪問による実態調査

町内の中小企業・小規模事業者を一社ずつ訪問し、DX 状況の診断や財務・取引の安定性、人的資本、経営基盤、環境変化対応力等に関するヒアリングを実施

②調査結果を個別にフィードバック

診断結果をレーダーチャートや総合スコア（100 点満点）などを基に優先的に取り組む経営課題（DX 推進、価格転嫁、人材育成、ESG 対応等）と具体的な改善ステップを明確化し、町内の中小企業・小規模事業者に個別にフィードバック

③継続的な伴走支援

診断結果に基づき、支援の必要性が高い企業や経営課題解決に意欲的な企業に対し、業務プロセスの標準化・デジタル化、人的資本の強化などを継続的に伴走支援

■事業実施の背景と目的

社会経済環境が大きく変化し続ける中、ICT や AI などのデジタル技術を活用した生産性向上や新たな価値創出の重要性が高まっています。特に人手不足が深刻化する中、中小企業・小規模事業者においては、DX の推進による業務効率化や競争力強化が課題となっています。

東浦町においても、生産年齢人口の減少や就業者の高齢化に加え、少人数経営による業務の属人化、紙・口頭を中心とした業務運用、情報共有の遅れといった構造的な課題を背景に、DX等の必要性が高まっています。一方で、業種ごとに経営課題やデジタル活用の状況は大きく異なり、画一的な支援ではなく、個社の実態に即したきめ細かな対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、東浦町、東浦町商工会、フォーバルの3者は、本事業を通じて個社の現状に即した支援によりDXの第一歩を明確化し、業務効率化や人手不足への対応、新たな付加価値の創出へとつなげていきます。あわせて、モデル事例の創出とその横展開を通じて、町内企業全体のデジタル変革の促進とDXに対する意識の底上げを図り、実効性の高いDX支援を推進します。

■東浦町地域創造部商工農政課担当者コメント

東浦町内の中小企業の皆様は、深刻な人手不足等の経営課題に直面しており、ICTやAIなどのデジタル技術を活用した業務効率化や生産性の向上、新規事業・事業拡大の促進による新たな付加価値の創出などに取り組むことが喫緊の課題となっています。

本連携により、DXの知識の習得と取組の促進に向けた積極的なアプローチを行うとともに、継続的な支援を通じた人的な伴走支援を実施いたします。

本取組が、東浦町内企業全体のデジタル変革の促進とDXに対する意識の底上げに繋がることを期待しています。

【参考：株式会社フォーバル 会社概要】

所在地	東京都渋谷区神宮前五丁目 52 番 2 号 青山オーバルビル 14 階
代表者	代表取締役社長 中島 將典
設 立	1980 年 9 月 18 日
資本金	41 億 5,000 万円（2026 年 3 月期）
事業内容	中小・小規模企業向けの伴走コンサルティング 等



▲
(株)フォーバル
ホームページ

■問い合わせ

東浦町商工農政課商工労政係 ☎0562-83-6118 担当：小田、大橋